

# 「誇れる」地域の宝 栗井編

～まちのいいところ～



栗の井

栗井地区は北条地域の南に位置する人口7070人、2666世帯(2月1日現在)の地区です。かつて松山市との境は栗井坂と呼ばれ、現在のよな海沿いの道路はなく、峠を越える山道で今治街道一番の難所であったといえます。明治13年に海岸線の道が通じ、人々の往来は容易に

なり、やがて国道196号線として整備されました。昭和2年には鉄道が開通し、今では山側に4車線のバイパスが整備され、多くの車が行き交っています。このバイパスのトンネルの上には、関所跡が残されており、風早郡と和気郡の郡境の碑も建てられています。

栗井坂の県道平田北条線(旧国道196号線)西側には栗の井と呼ばれる井戸があります。この井戸には昔、水不足で困っている村人の姿を見た弘法大師がつえを突くと水が湧き出したという伝説が残ります。水がこんこんと栗粒のように湧き出ることから「栗井」と呼ばれるようになったといわれ、

地名の由来となっています。地区のシンボルでもある宅並山は、標高200mの山で地域の人たちの手により登山道や山頂ベントの整備、頂上付近の植樹などが行われ、登山道にはつえも用意されています。頂上からは堀江地区から北条地域に至る景色が見渡せます。



宅並山

# 堀江港 海の駅「うみてらす」オープン

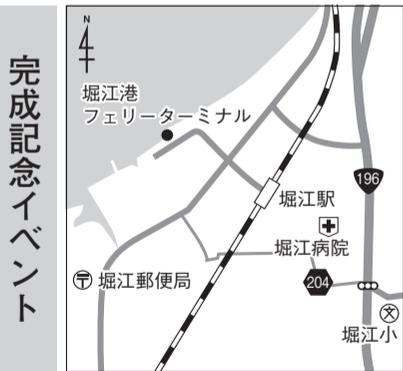


※愛称「うみてらす」は堀江地区と協議の上、決定しました

平成25年4月、堀江港に「まつやま・ほりえ海の駅「うみてらす」」がオープンします。これは堀江地区タウンミーティングでの要望などにより、地区の活性化を図るため、6隻程度の浮き橋や、誰もが気軽に立ち寄り憩える休憩所を整備したものです。「海の駅」係留施設利用の詳細は、市ホームページ(3月21日掲載)をご覧ください。

**【日時・内容】**3月20日(水・祝) 10時～落成式、10時30分～餅まき、青空市、写真展など  
**【場所】**堀江港(堀江町)  
※会場へは公共交通機関をご利用ください

お問い合わせは、落成式・係留施設に関すること▶空港港湾課 ☎9486491・FAX 9341805 ▶イベントに関すること▶堀江公民館 ☎・FAX 9793596へ



完成記念イベント



お問い合わせは、広報課 ☎9486877・FAX 9342578へ

**3月10日◎南海放送**  
**【放送日時】**3月10日(日)12時50分～13時20分  
**【タイトル】**お城マニア・春風亭昇太&歴ドル・美甘子「松山城」だから「発見物語」!  
**【内容】**春風亭昇太さんと美甘子さんが松山城を巡り、「城下町まつやま」の魅力を紹介します。

広報特別番組  
**春風亭昇太さんが松山城を攻める!?**



地区の課題を話す参加者

## 地区の方の声

・各種団体の連携がよく、ボランティア活動も積極的です  
・市街地にも近接し、自然豊

2月1日開催・栗井農村環境改善センター・参加者56人



かて住環境に恵まれています  
・宅並山での清掃を、登山者に歩きながらできるボランティアとしてお勧めしたい  
・地域交流や災害時の拠点となる集会所の修繕を支援してほしい  
・災害時に避難情報を伝達するシステムの整備状況を教えてください  
※抜粋、要約しています。詳細は市ホームページに掲載します

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎9486383・FAX 9343157へ



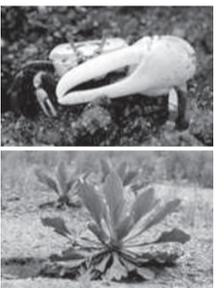
概要版



レッドデータブックまつやま2012

最新の調査結果を基に、市内で絶滅の恐れのある732種の野生生物を一冊にまとめた「レッドデータブックまつやま2012」と、その概要版となる「市民のみなさんに知ってほしい松山市で絶

# レッドデータブック2012 刊行



準絶滅危惧のハクセンシオマネキ(上)とハマサジ

滅に近づいている生きものたち」を刊行しました。  
レッドデータブックは中央・三津浜・北条・中島図書館や市ホームページで閲覧できますので、環境学習などにご活用ください。希望者には本編2000円・概要版2000円で販売します。詳細は市ホームページをご覧ください。

## 希少動植物保護事業

レッドデータブックの刊行に合わせ、垣生・五明・和気・



希少な生きものを守る児童

浮穴の各地区で、地域住民を対象に希少動植物保護の講習会を開催しました。参加者は、身近にすんでいる希少な生きものやそれらを守っていくことの大切さを学びました。

## 松山子ども市議会



久枝小学校の6年生119人が参加し、松山子ども市議会が2月8日に市議会本会議場で開催されました。児童は、いじめ対策や校舎のエアコン設置などをテーマに模擬市議会を体験したほか、議会施設の見学や議員との意見交換を通じて、市議会への理解を深めました。

# 市政スポーツ

## 市道後温泉活性化計画審議会の一次答申

道後温泉活性化審議会・柏谷増男会長(写真左)らが1月30日に市役所を訪れ、道後温泉本館改修時における代替施設に「椿の湯」の改築を最良とする第一次答申を行いました。柏谷会長は「道後温泉を観光資源としてだけでなく、伝統文化としても重要視してほしい」と話しました。

